



# 日和佐中通信

2025(令和7)年1月

第9号

発行責任者:影田博徳



## 花の咲かない寒い日は 下へ下へと根を伸ばせ

穏やかな正月が過ぎ、いよいよ3学期が本格的にスタートしました。2学期の終業式でもお話ししましたが、昨年の元日に石川県能登半島を震源とするマグニチュード7.6の地震が発生しました。追い打ちをかけるように9月には集中豪雨が再び能登半島を襲いました。甚大な被害が広がり、多くの方々が傷つきました。あれから1年が経ちましたが、その傷はいやされず、いまだ復旧の目途はたっていません。こうして無事に家族と新年を迎えられたこと、級友と楽しく学校生活を送れることは決して当たり前ではないと思います。毎日の暮らしを当たり前と思わず、周囲の人に感謝しながら、この令和7年を充実した1年にしてください。

さて、最近のニュースでは日本各地での大雪被害が伝えられ、本格的な冬の到来を感じるようになりました。冒頭の『花の咲かない…』という言葉は、始業式でも紹介しましたが、私が担任や部活動の顧問をしていた時に、よく生徒に伝えた言葉です。2000年のシドニーオリンピック女子マラソンで日本人初の優勝を果たした高橋尚子選手が高校時代の恩師から送られた言葉だそうです。今は厳しくつらい時期であっても耐え忍び努力すれば、きっと良いことが訪れるという意味です。冬休み中も、朝早くから教室で黙々と勉強に取り組んでいた3年生。グラウンドや体育館などでもサーキットトレーニングや基礎練習に打ち込んでいた1・2年生。寒風に向かって走り続けることは、本当に大変なことなのですが、その努力がやがて実を結び、自らの進路を切り拓いたり、目標を達成したりすることにつながります。人は結果が出ないときは焦ったり、諦めたりしがちになりますが、苦しいときに踏ん張るからこそ根が伸びるんです。その根は君たちの心の中にあります。身を切るような厳しい寒さが続きますが、春は必ず訪れます。春に76色のきれいな花が咲くことを祈っています。

### 生徒会発足

12月18日(水)、生徒会本部役員改選にともなう立会演説会が行われました。2年生から

9人、1年生から6人の皆さんが立候補し、日和佐中学校をより良くしようとする決意を熱く語ってくれました。投票の結果、6名の生徒会本部役が選出されました。本部役員だけでなく、全校生徒一人ひとりが日和佐中学生徒会の一員です。新しい本部役員と協力し、先輩が残してくれた伝統を引き継ぎ、一緒に新しい日和佐中を創っていきましょう。最後に3年生の皆さん、今まで日和佐中をリードしてくれて本当にありがとうございました。



新役員の皆さんよろしくお願いします 旧役員の皆さんお世話になりました

### インフルエンザ予防に全力を

全国的にインフルエンザが猛威を振るっています。徳島県でも県内すべての保健所管内で警報レベルを超えているそうです。今後も大切な行事が控えていますし、受検も目の前です。私たちのできることを確実に実施し、自分の健康と周囲の人の健康を守っていきましょう。



保護者の皆様

明けましておめでとうございます。

すべての生徒が「今日も来てよかった日和佐中学校」と感じられるよう、日和佐中教職員一丸となって頑張りますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

月  
日  
曜  
日  
直